

# 校報 あずまね

文責：紫波町立紫波第三中学校 校長 角谷 隆章

2026 年 1 月 16 日（金）

～伝え合い 響き合い 高め合う～

紫波町立紫波第三中学校 学校だより No.11

## 【紫波第三中学校の第 3 学期がスタート！！】

先週の金曜日(1/9)、紫波第三中学校の第3学期がスタートしました。3つの学期の中では一番短いのですが、“1年の総仕上げ”をするとともに、“新年度の準備”をする学期になるので、1日1日がとても大切になってきます。3月の卒業式、修了式がそれぞれの学年にとって大きな区切りになりますが、その日を皆が納得して迎えらることを期待しています。まだまだ寒い日が続きますが、季節はやがて冬から春へ向かいます。希望満ちあふれる新年度へ向けて、我々教職員も一丸となり、教育活動を進めてまいります。保護者や地域の方々におかれましては、本年も引き続き本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

### 始業式での校長の話です

新しい年、2026（令和8）年が始まりました。みなさんは新年をどのように迎えたでしょうか？

世の中には SNS が広く浸透して、ハガキの年賀状を出す人は少なくなっていますが、私はずっとハガキの年賀状を出し続けています。習慣になっていると言ってもいいでしょう。1年に1回、「どうしているかな？」という思いと、「よい年になるように！」という願いを込めて、印刷したものに、必ず一筆書き添えてから出しています。親戚や友人、知人はもちろん、勤めている学校の先生方、学級担任をしているときは学級の生徒にも必ず出してきました。最初に担任をした生徒とは今も数名と年賀状のやり取りをしています。もう 40 代も後半、みなさんのお父さん、お母さんの年代になっていますが、届いた年賀状をみると、元気にやっていることがわかり、うれしくなります。

さて、今年も同じようにしましたが、三中の先生方にはこんなことを書きました。

クマ騒動、大船渡や大分県の大規模火災、物価高騰…… 昨年はいろいろな災難に見舞われました。今年が穏やかで平和な年になることを誰しもが心から願っているのではないのでしょうか。さて、2026 年の「午年」は「丙（ひのえ）」と「午（うま）」の両方が火の性質を持つため、強いエネルギーにあふれ、道を切り拓く年とされているそうです。こんな話を聞くと、もしかしたら、大きな挑戦や飛躍のチャンスなのかもしれませんが、私は、これまで通り、自分にできる努力を積み重ね、紫波三中の教育活動を安定・充実させていくという決意を持ち、頑張っていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。幸せな 1 年になりますように。

2026年のスタートにあたり、みなさんには、「ひのえうま」が強いエネルギーにあふれ、道を切り拓く年であることにあやかり、挑戦や飛躍の年になることを期待します。

今、3年生はまさにその真っ只中にいます。進路実現に向けて挑戦し、飛躍してほしい。私もそうですが、家族をはじめ、関わる人たちが心から応援しています。しっかりと前を見て1日1日を大切に頑張ってください。

2年生。2学期の私との面談では全員に話しました。“中学校生活の分岐点は2年生の3学期”です。修学旅行や運動会の準備があります。新入生を迎え入れる心構えをもたなければなりません。お世話になった3年生を気持ちよく送り出すことも求められます。あなたたちのこの3学期の良し悪しが、4月の紫波第三中学校のスタートの良し悪しに直結します。高い意識をもって皆で協力し、生活を送ってください。

1年生。これまで多くのことを学んできたと思います。4月からはもう最下級生ではなくなります。新入生が入ってくれば『先輩』になるのです。迎え入れる心構えをもち、しっかり準備を進めてください。

3学期は言うまでもなく、一番短い学期です。しかし、これまでの『仕上げ』と新年度からの『準備』を進める大事な学期になります。まずは心身の健康を保ち、事故や問題に巻き込まれることのないように充分に気をつけて、やるべきことをやり遂げる3学期にすることを期待し、私からの年頭のあいさつにします。



1時間目。ストーブをたいていても寒さが厳しい中で始業式になりましたが、話を聞く姿勢、代表が今学期の決意を述べる姿、校歌を歌う様子から、生徒たちの熱意を感じるスタートになりました。

今学期もみなさんの成長した姿をみることを楽しみにしています。

#### 余白コラム

何の志ざしもなき所二ぐずして日を送るハ実ニ大馬鹿ものなり 坂本龍馬

出展—慶応元年九月九日 坂本乙女、おあべあて書簡

# 志

各々、志をもった3学期に！